

健友ネット集会 特別分散会

PTSDの復員日本兵と

暮らした家族が語る

PTSDの日本兵家族会 ・寄り添う市民の会 黒井秋夫代表が発表

「戦争はしません 白旗を掲げましょう 話し合い和解しましょう」
簡単なことです。みんなが戦争しないと宣言するだけで世論になります。



黒井秋夫氏による講演の様子。白旗を掲げ、話し合いを促している。

午後5時の分散会A会場 族会・寄り添う市民の会
は、PTSDの日本兵家族会 代表の黒井秋夫氏を講師
にお招きしました。

黒井秋夫氏は、PTSDとは、いのちの危険を感じるような衝撃的な出来事を経験した人、77歳で父が他界した後、黒井氏はアメリカの元兵士アレックス・ネルソンのドキュメンタリーを見て、重なる父の姿から、父のことを理解したとい

います。それをきっかけにPTSDの日本兵家族会・寄り添う市民の会を立ち上げ、全国150名を超える家族の方と経験を共有してきました。全国のPTSDの日本兵の家族の話を聞いて回ること、実態調査の必要性を訴えます。

「国に求めることは」
日本の戦死者は、推計376万人。正確に把握していない日本は、国民を大事にしてきたのでしょうか。活動を始めて10年、「人間一人ひとりを大事にする国であってほしい」といいます。

声も上げることができず、不安を抱えています。「皆さんの父親はどうでしたか？ 声を上げることを我慢することはない。男性も愛する家族のために声を上げてほしい」と呼びかけました。

この活動を昨年は多くの新聞が記事にしてくれました。黒井氏は2018年に寄り添う市民の会を東京に結成。その後、大阪・千葉・神奈川・九州・東海にも市民の会をつくることを宣言して活動を続けています。

たそうです。読売新聞や産経新聞などを例に出し、日本のアジア侵略という事実を、信念をもって伝えてくれる記者もいることを紹介しました。この世論は、高市首相も無視できない課題とし、運動をつくり上げていきたいと意気込みます。

過去の戦争で、アジアの多くの方が亡くなりました。日本の積極的平和による軍備強化を受けて、インドネシアの教科書は今年、日本に侵略されて被害を受けたと強調する内容に変わりました。日本が軍事力を強めることで関係が崩れていく不安を語ります。日本は戦争をしないと宣言し、信頼を築き上げてきました。平和は相互関係でつくることができます。

2月7日 解散総選挙前

緊急アピール行動を敢行

高市首相による不意打ちで大義のない解散総選挙を受けて、尾張健友会グループでは急ぎ、2月7日の医療法人理事



街頭での緊急アピール行動の様子。白旗を掲げ、抗議の声を上げている。

月7日の医療法人理事会開催前に緊急呼びかけを行ない、スタンディングアピール行動を敢行しました。理事長、専務をはじめ、理事や職員が22名集まり、元小交差点で行きかう人たちに「STOP! 改憲NO!」などのパネルを手に、参加



声を上げ続けよう！

社会活動部 中井智佳子

医療法人尾張健友会 2026年3月社員総会(予算総会) のご案内

- 日時 3月28日(土) 14:00~15:30(予定)
- 場所 千秋病院 市民健康教室
- 議事
 - 第1号議案 社員の入社承認について
 - 第2号議案 2026年度事業活動方針について
 - 第3号議案 2026年度収支予算について
 - 第4号議案 2026年度借入最高限度額について
その他

2026年度定期社員総会(決算総会)

- 日時 6月28日(日) 13:30~16:00(予定)
- 会場 ケアハウスちあき1階

全日本民医連 PFAS 疫学研究調査 協力者の募集

PFASは人工的に作り出された化学物質で、食器、革製品、撥水加工剤などさまざまな製品に使用されています。発がん性や胎児・新生児への影響も指摘される物質であり、日本各地の水道水や河川において高濃度のPFAS汚染が多数確認されていますが、全国的な実態が十分に把握されていません。

私たちが加盟する全日本民医連は全国規模での血液検査を行ない、PFAS暴露地域の特長と健康影響の関連を調査することとなりました。本研究調査の趣旨に賛同し、調査研究にご協力いただける方を募集します。

- 【日時】
 - ①5月9日(土) 14:00~15:00
 - ②6月6日(土) 14:00~15:00
- 【会場】 千秋病院

- 【対象者】以下のすべてに当てはまる方
 - ①尾張健友会社員、友の会会員、職員
 - ②5年以内にPFAS検査を受けたことがない方
 - ③1年以上愛知県内にお住まいの方
 - ④血液検体の提供と調査協力費(2,000円)の負担に同意いただける方

※締め切りは3月31日(火)、応募多数の場合は抽選
QRコードよりお申し込みください。
問い合わせ 千秋病院 事務長室
☎0586-77-0012



鬼も一緒に福は内



こん棒でバチン!

鬼は外♪
みんな笑顔で福は内!
特別養護老人ホームちあき第二
いざ豆まきが開始されると「怖いな」「今日は節分か?」「鬼は外!」など、大きな声、笑顔もあふれて活気に満ちていました。(職員の方が勢いに負けてしまっているな)。なかでも、ちあき第二、3階ユニットが大きな盛り上がりを見せていました。新聞ポスターを投げたり、鬼のこん棒を取り上げて鬼を叩く利用者さんもあり、鬼をやっていた側として清々しい気持ちになりました。普段あまり活気のない方も笑顔で豆まきを楽しんでいました。

今後も利用者さん、職員が丸になり楽しんでもらえる企画作成を心掛けて、思い出の残る、活気があり笑顔の絶えない施設を目指していきます。
介護福祉士 柴田 勇氣

社会福祉法人尾張健友福祉会

- ケアハウスちあき/地域交流スペース
デイサービスセンター・ちあき
 - 藤が丘デイサービスセンター
 - 介護保険サービスセンターちあき
 - 岩倉小規模多機能ホーム・ちあき
 - 岩倉デイサービスセンター・ちあき
 - 特別養護老人ホーム・ちあき
 - 特別養護老人ホーム・ちあき 第二
 - 萩原小規模多機能ホームちあき
 - 萩原グループホームちあき
- 電話番号・FAX番号は5面をご覧ください。